

第18回 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会

情報提供・相談支援部会

よりの報告

国立がん研究センターがん対策研究所 がん情報提供部 高山智子

2022年6月30日（木）13-15時

オンライン会議システムを利用

部会からの報告内容

- 1. 整備指針、次期基本計画策定に向けての提案書：
“情報提供・相談支援部会”からあげたポイントについて**
- 2. 都道府県がん診療連携協議会における
情報集約や運営体制の事例共有**
- 3. がんと診断されて間もない人への情報資材の活用
について**

整備指針/次期基本計画に向けた 提案書のポイント

- 拠点病院に設置されたがん相談支援センターは、すべての患者、家族、地域住民が利用できるがんに関する**情報提供拠点**としての役割を担っている。
- がん患者や家族等の心配・悩みの軽減、安心して暮らせる社会の構築に貢献するため、**下記に示すような目標と、それらに対応した行動指針・指標を整備していくことが重要**であると考えられる。

<拠点病院における相談支援と情報提供機能の充実を目指す目標>

1. がん診療連携拠点病院としてすべてのスタッフが、患者や家族等の不安や困りごとに気づき、必要な情報提供や支援を行い、必要時には、がん相談支援センターにつなげられるようになることを目指す。
2. 患者や家族等のがんによる不安や困りごとに適切に対応できるよう相談支援の場を利用しやすくするとともに、適切な支援につながることを目指す。
3. 患者や家族などの相談者が安心して利用できるよう、公平で、中立な相談の場を確保し、患者や家族などの相談者が、科学的根拠に基づく信頼できる情報等をもとに、（その人なりの）意思決定ができる体制を整備する。
4. 質の高い相談支援を提供する体制を整備する。
5. がんになっても安心して暮らせるよう、地域の関係者らと協力して、社会にがんに関する適切な理解を促すことを目指す。

整備指針/次期基本計画に向けた 提案書のポイント

- これらの目標が達成されるためには、がん相談支援センターだけでなく、**より大きな組織（行政、都道府県がん診療連携協議会、拠点病院等）単位での対応も重要になる**ことから、相談支援や情報提供に関する提案を対象別*に記載した。
* 都道府県がん診療連携協議会/拠点病院/国の都道府県拠点病院連絡協議会の役割
- 都道府県がん診療連携協議会の**情報集約機能**や**役割分担・連携構築の議論を主導する機能**、また**患者団体と拠点病院の間をつなぐコーディネート機能**等を強化することが必要である。
- 拠点病院では、**病院をあげて、患者家族支援体制を整備すること**や**診断初期の患者に必要な情報を確実に伝える体制を整備**することが必要である。また、がん相談支援センターで提供される支援の質を担保するため、整備指針上での**人員配置要件**や**相談員の研修修了要件の見直し**が必要である。
- 基本計画に関わる事項として、拠点病院の整備をはじめとする**医療の範囲では対応が困難なもの**も多い。法務をはじめとする他分野との協働や社会教育分野等の連携も必要となるものも多く、**他分野との連携も想定において、相談支援や情報提供の充実**が図られる必要がある。

行政等との連携： 先行事例としてご報告頂きました。

■ 島根県がんピアサポーター相談会 運営・実施報告

- 島根大学医学部附属病院がん患者・家族サポートセンター
（がん相談支援センター）がん専門相談員 榎原 貴子

■ 愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会の取り組み

- 愛媛県がん診療連携拠点病院連絡協議会 がん相談支援専門部会部会長
（四国がんセンター） 灘野 成人

■ 島根県がんピアサポーター相談会 運営・実施報告

がんピアサポーター相談会の開催に向けて：

拠点病院がん相談支援センターが担ったこと

- ・相談会開催の日程調整・場所の確保
- ・広報の協力（チラシ掲示・広報誌への掲載等・医療スタッフへの周知）
- ・相談会開催時のサポート
- ・相談会終了後の「振り返り」の同席

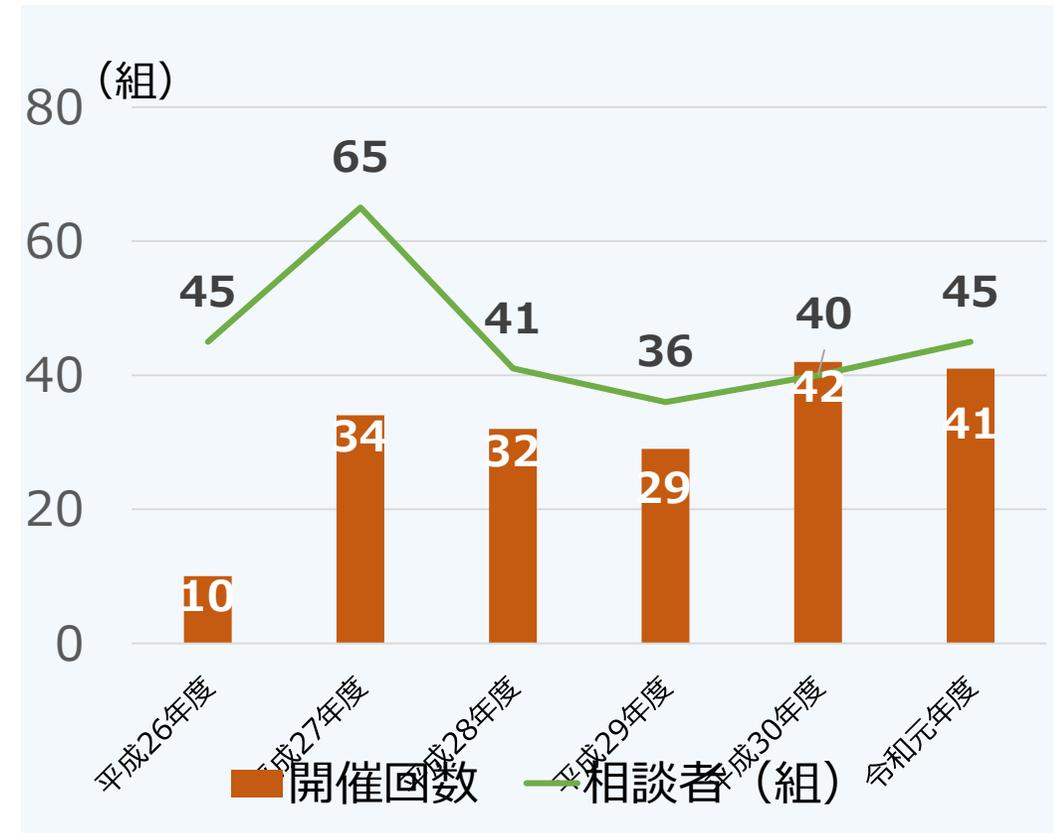
島根県より「島根県がん相談員等資質向上事業」として委託

がん患者・家族サポートセンターが担ったこと

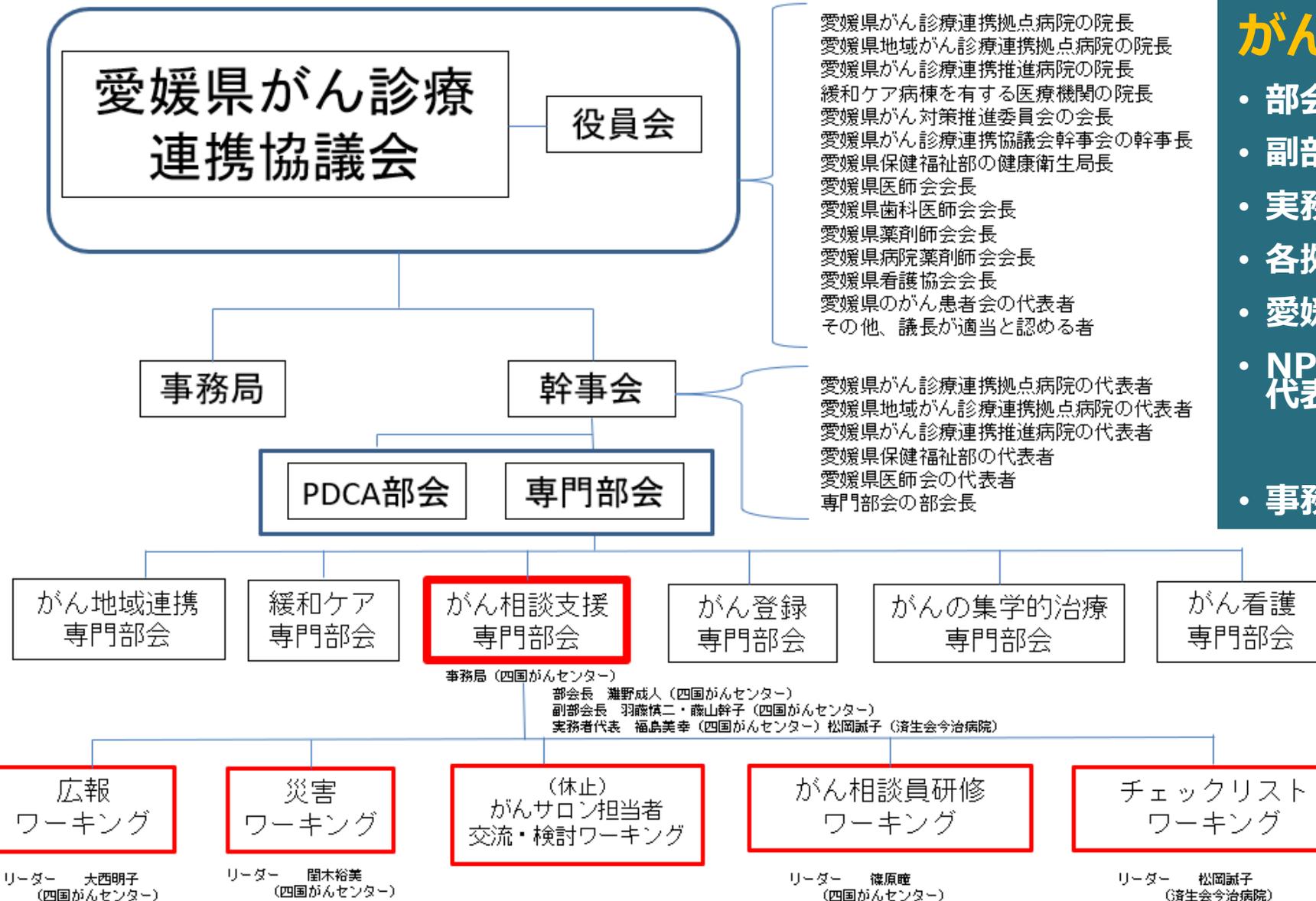
- ・病院への開催依頼文書の作成
- ・ボランティア保険の準備
- ・ピアサポーターの相談窓口
- ・開催日に合わせたピアサポーターの調整
- ・交通費の支給事務 ・チラシ作成
- ・拠点病院以外での開催時のサポート
- ・「実務担当者会」での話し合い

ピアサポーター・県・がん相談員実務担当者会共催での意見交換会の実施

島根県のピアサポーター相談会開催回数と相談者（組）の推移



■ 愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会の取り組み



愛媛県がん診療連携拠点病院の院長
 愛媛県地域がん診療連携拠点病院の院長
 愛媛県がん診療連携推進病院の院長
 緩和ケア病棟を有する医療機関の院長
 愛媛県がん対策推進委員会の会長
 愛媛県がん診療連携協議会幹事会の幹事長
 愛媛県保健福祉部の健康衛生局長
 愛媛県医師会会長
 愛媛県歯科医師会会長
 愛媛県薬剤師会会長
 愛媛県病院薬剤師会会長
 愛媛県看護協会会長
 愛媛県のがん患者会の代表者
 その他、議長が適当と認める者

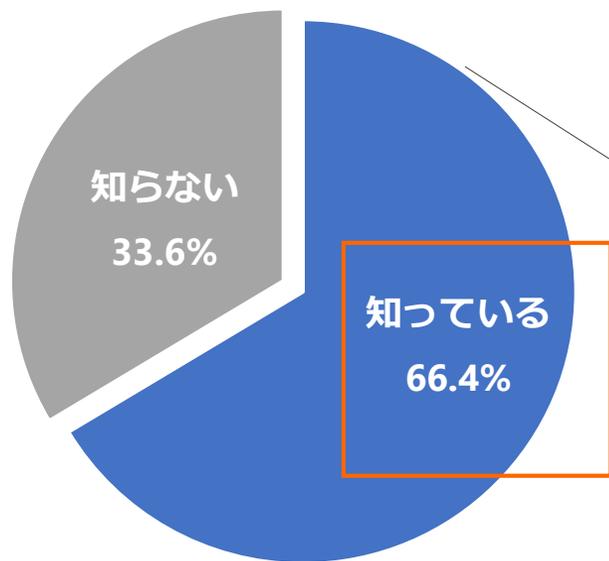
愛媛県がん診療連携拠点病院の代表者
 愛媛県地域がん診療連携拠点病院の代表者
 愛媛県がん診療連携推進病院の代表者
 愛媛県保健福祉部の代表者
 愛媛県医師会の代表者
 専門部会の部会長

がん相談支援専門部会

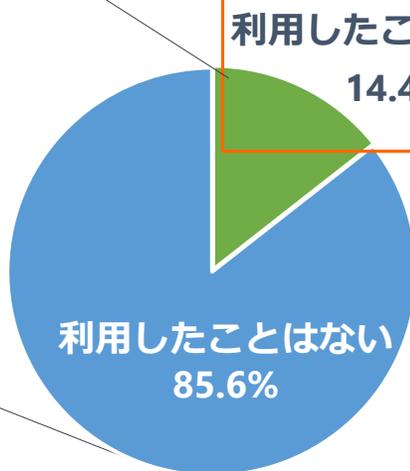
- ・ 部会長 医師1人
- ・ 副部会長 医師2人
- ・ 実務者代表 2人 (MSW、看護師)
- ・ 各拠点病院・推進病院から実務者 数名
- ・ 愛媛県庁健康増進課 係長
- ・ NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 代表者
- ・ 事務局 四国がんセンター

がん相談支援センターの認知度、利用者、満足度

相談支援センターの認知度

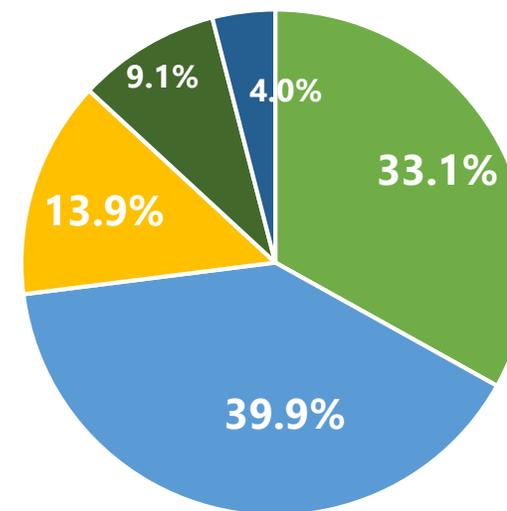


前回：「利用したことがある」、
「利用したことはないが知っている」と回答した人 56.0%



相談支援センターの利用

利用満足度

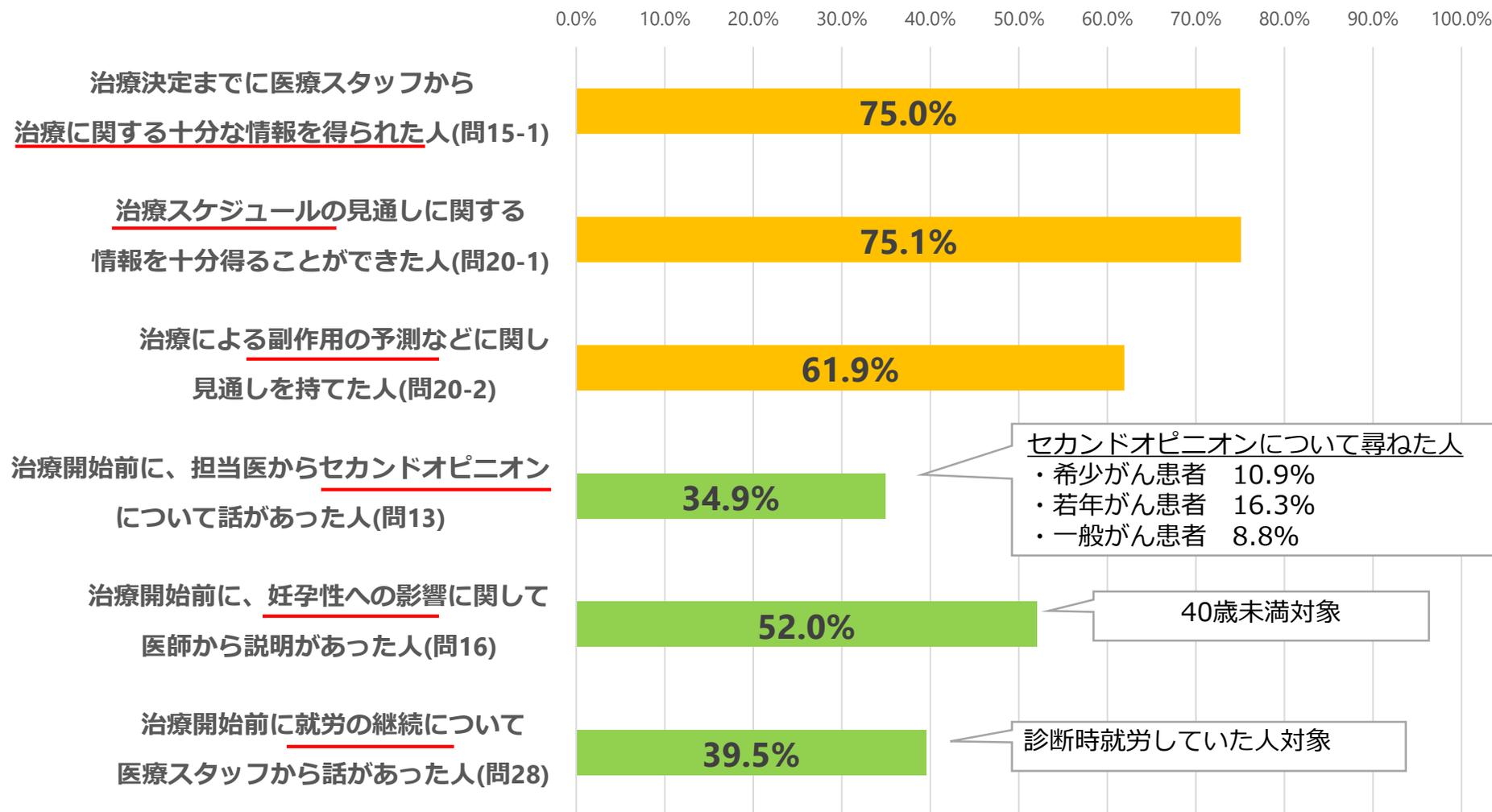


73.0%

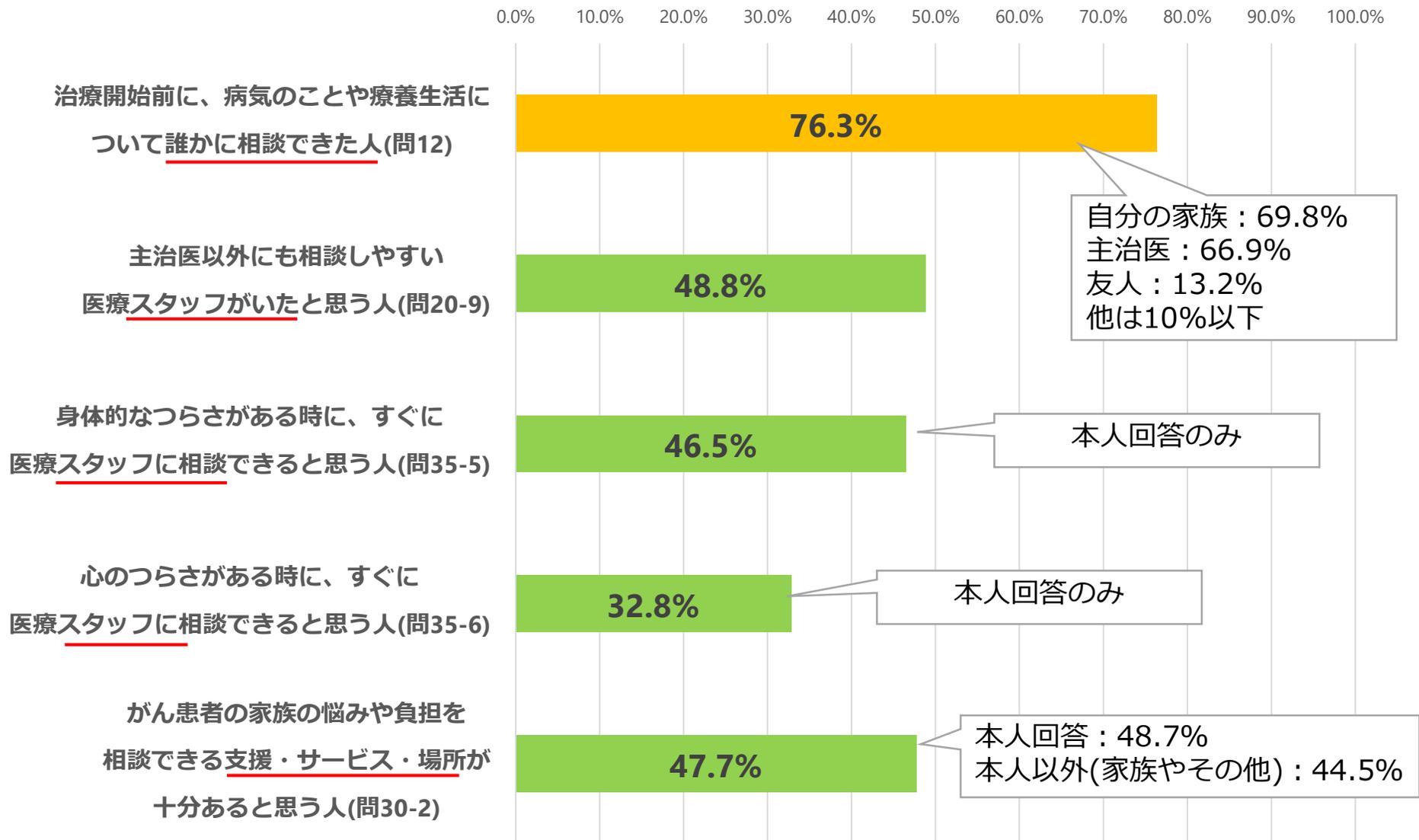
- とても役に立った
- ある程度役に立った
- やや役に立った
- どちらともいえない
- 役に立たなかった

がん患者体験調査より：

「治療前の説明・見通し」



がん患者体験調査より：「療養・症状の相談」



がんと診断されて間もない人への 情報提供資材（冊子）

作成経緯と活用方法のご案内

～医師をはじめ、すべての医療者に
ご活用いただくために～

がんと診断された
あなたに
知ってほしいこと



作成・提供：

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会

国立がん研究センターがん情報編集委員会

冊子作成のコンセプト

とにかく「がん相談支援センター」を知ってもらう

- ・ 寄り添うチームがいて何でも相談できる



患者に冊子を最も手に取ってほしい時期

- ・ がんの告知直後～初回治療開始（初回入院するとき）頃まで



患者が冊子を手に取る場面

- ・ 医師（医療者）から冊子を手渡される
- ・ がん相談支援センターで冊子を手にとる
- ・ 院内のリーフレットラックで冊子を手にとる
- ・ 図書館などの公共機関のリーフレットラックで冊子を手にとる
- ・ がん情報サービスWebサイトで目にする



冊子利用のメリット

医師（医療者）にとってのメリット

- 伝えたいけれど十分に伝えられない情報を補完できる
 - 標準治療について、セカンド・オピニオン（受けられること、しくみ）
 - 妊孕性（治療を始める前に伝える必要がある情報）
 - 就労支援（「仕事をすぐに辞めないで」） …等
- 多職種で連携しやすくなる
 - がん相談支援センターの紹介：困った時には、だれかに相談してほしい！
そんな場として利用できる「がん相談支援センター」をいち早く紹介でき、多職種で連携し、患者や家族に必要な情報提供やサポートができる



患者にとってのメリット

- 必要な情報を得ることができる
 - 冊子内のQRコードを利用すれば、さらに詳しい情報が得られる
 - 「がんと診断されたあなたに知ってほしいこと」



医療者への信頼
につながる！

院内や地域の拠点病院等の 医師/医療スタッフへの周知用に ぜひご活用ください

- 院内で活用できる資料を準備しています。
 - 説明用資料 パワーポイント
 - 動画（3分程度）等



※こちらのページは、「国指定がん診療連携拠点病院等サポート」用のため、ID、パスワードが必要です。
※ID、パスワードは、がん相談支援センターの皆さまには周知済みですので、院内でご確認いただければ幸いです。

https://ganjoho.jp/med_pro/consultation/kyoten/booklet.html